

2026 年 11 月、パシフィコ横浜にて

- ▷次世代の海洋産業を推進する **OXExpo**(オーシャントランスフォーメーション・エキスポ[®]) を初開催！
- ▷港湾・海運の次世代燃料に関する **Global Ports Safety 国際セミナー** を日本初開催！

横浜市は、2026 年 11 月 25 日(水)と 26 日(木)の 2 日間、パシフィコ横浜にて、次世代の海洋産業を推進する展示会「オーエックス・エキスポ OXExpo」と、港湾と海運における次世代燃料の安全な利用促進を目指す「グローバル ポーツ セーフティ Global Ports Safety国際セミナー」を初開催します。

我が国を代表する総合港湾「横浜港」を擁する横浜市中で港湾・海運・海洋に関する 2 つの国際イベントを同時開催することで、港と共に発展してきた横浜市中がこれからも海洋都市として発展する契機としてまいります。

1 OXExpo (オーシャントランスフォーメーション・エキスポ)

本展示会は、オーシャントランスフォーメーション (OX: Ocean Transformation) の推進を目的としています。我が国の海洋施策においては、「海洋基本計画 (第 4 期)」の中で、海洋を取り巻く環境の変化を踏まえ、海洋産業の大きな変革を促す取組として OX を推進していくことが示されています。

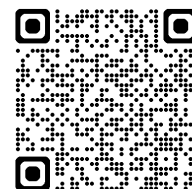
こうした背景のもと、海洋都市横浜うみ協議会が開催してきた「うみコン (海と産業革新コンベンション)」を発展させるため、インフォーマ マーケッツジャパンと連携し、新たな展示会として OXExpo を立ち上げました。

OXExpo
Ocean Transformation Exhibition



(1)開催概要

展示会名：OXExpo (読み方は、「オーエックス・エキスポ」)
会 期：2026 年 11 月 25 日(水)～26 日(木) 10:00～17:00
会 場：パシフィコ横浜 展示ホールC ほか
同時開催：うみコン 2026 (海と産業革新コンベンション)
入 場 料：無料 (どなたでも参加できます)
主 催：インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社
後 援：横浜市、海洋都市横浜うみ協議会



来場事前登録は
[オフィシャル
ウェブサイト](https://oxexpo.jp/)から

(2)来場方法

来場事前登録やセミナー申込はオフィシャルウェブサイト (<https://oxexpo.jp/>) からお手続きをお願いします。(セミナーは先着順。事前登録は当日まで可)

裏面あり



GREEN X EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(3)見どころ

海洋産業の展示会を中心に、シンポジウムやセミナーなど、産学官連携と次世代人材育成のためのイベントを複合的に開催します。

別紙の案内状もご参照ください。また、オフィシャルウェブサイトは随時更新予定です。

○初開催で約100社が出展する展示会

OXを推進するためにOcean Technology（先端技術）、Ocean Mobility（最新モビリティ）、Ocean Energy（エネルギー開発）の3分野に関連する多彩な出展社が集結します。

○「DX」・「AI」・「カーボンニュートラル」など最先端の情報が集まる講演を多数実施

海洋業界における産学官の第一線の講師陣が登壇し、最新情報や海の未来を知ることができるセミナーを多数実施します。

○「見て、触れて、感じる」併催イベントも開催

気象庁の海洋気象観測船「凌風丸」の見学（25日のみ）やROV（水中ドローン）のデモンストレーションなど、最新の海洋技術を体感できるイベントを併催します。

(4)海洋都市横浜うみ協議会及び横浜市によるセレモニー・セミナー、横浜市港湾局職員が登壇するセミナー

※開催内容等は今後変更される可能性があります。

1日目：11月25日(水)

- ・11:40-12:00 横浜港・メルボルン港 貿易協力港40周年記念セレモニー
- ・12:00-12:30 「True Emission Eye-Maritime」船舶GHG排出量を見える化する新たな挑戦
- ・13:00-13:10 OXExpo オープニングセレモニー
 - ・内閣府 総合海洋政策推進事務局 事務局長 飯塚 秋成 氏
 - ・横浜市港湾局長 新保 康裕
 - ・海洋都市横浜うみ協議会 副会長 産業振興・専門人材育成部会 座長 三菱製鋼株式会社エグゼクティブ・アドバイザー 高島 正之 氏
 - ・海洋都市横浜うみ協議会 理事 教育・市民協働部会 座長 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 人工環境と情報部門 教授 村井 基彦 氏
 - ・インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社 代表取締役社長 ジェームス・ソバック 氏
- ・13:10-13:30 講演：戦略17分野「海洋」政策の要諦と官民連携への期待（内閣府 総合海洋政策推進事務局 事務局長 飯塚 秋成 氏）
- ・13:30-13:50 講演：横浜港におけるカーボンニュートラルの形成と海洋施策の推進について（横浜市港湾局長 新保 康裕）
- ・15:40-16:50 Pacific Environment（IMOの諮問資格を有する国際NGO）によるセミナー

2日目：11月26日(木)

- ・10:30-12:00 Global RoRo Community セミナー（RoRo船・自動車専用船を運航する海運会社や船級協会によるScope3排出量算定ガイドライン等に関するセミナー）

次頁あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



・12:30-13:50 国立研究開発法人セミナー

○海洋研究開発機構 (JAMSTEC)

タイトル：JAMSTEC による海洋プラスチック汚染対策に向けた技術開発

講演者名：物質地球科学研究部門 環境物質研究プログラム プログラム長 中嶋 亮太 氏

○水産研究・教育機構 (FRA)

タイトル：水素燃料電池漁船の実証試験を通じた期待と課題

講演者名：水産技術研究所 環境・基盤部門

水産工学部 漁業生産工学グループ 主任研究員 安田 健二 氏

○海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 (NMRI)

タイトル：複数 AUV による高効率海底調査手法の開発と実証～同時展開から隊列制御へ～

講演者名：海洋先端技術系 水中ロボティクス研究グループ 主任研究員 稲葉 祥梧 氏

○海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 (PARI)

タイトル：「ブルーカーボンの見える化」のためのデータアーカイブシステムの開発

講演者名：沿岸環境研究領域 沿岸環境研究グループ長 茂木 博匡 氏

2 Global Ports Safety 国際セミナー

本セミナーは、フランス共和国の国際協力機関である Expertise France と連携して、東南アジアと南アジアの港湾・エネルギー関係者を対象とする港湾と海運の次世代燃料の脱炭素化に関する取組で、本年4月1日に発表された日仏首脳共同声明に盛り込まれた意義ある取組であり、本市は本年3月31日に Expertise France と覚書を締結し準備を進めてきました。これまでにタイや韓国等で開催実績があり、日本では横浜で初開催となります。

また、本セミナーは次世代燃料の安全な取扱いの促進が目的であるため、高度な専門性が必要であることから「横浜港港湾脱炭素化推進臨海部事業所協議会」に参画している企業や国土交通省に講義や視察受入など多大なご協力をいただいて実現しました。

なお、本セミナーは原則として関係者だけが参加*できるものですが、同時開催する OXExpo 会場に特設ブースを設置して講演内容（ワークショップや事業所視察を除く）を配信することで一般の来場者の方々もご覧いただける環境を提供する予定です。

※報道関係者による取材案内については後日改めてご連絡する予定です。



(1) セミナー概要

名称：International Seminar “Ports & Maritime Decarbonisation Safely”

日程：2026年11月25日(水)～26日(木)

会場：パシフィコ横浜ノース ほか

主催：Expertise France、横浜市港湾局

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(2) セミナー参加者

	内容	氏名・社名等
講師側	基調講演	きつかわたけお 橘川武郎 国際大学学長（東京大学・一橋大学名誉教授）、 横浜港脱炭素化推進臨海部事業所協議会座長
	講義等	国土交通省港湾局産業港湾課、国土交通省海事局海洋・環境政策課、三菱ガス化学株式会社、日本郵船株式会社、電源開発株式会社、横浜市港湾局
		その他、Expertise France 側が招聘する欧州政府・企業・港湾の関係者など
	事業所視察	ENEOS 株式会社、東京ガス株式会社
受講者側	バングラデシュ（チッタゴン港）、カンボジア（シハヌークビル港）、インドネシア（タンジュンプリオク港、タンジュンペラク港）、マレーシア（クラン港、タンジュンペラパス港）、フィリピン（マニラ港）、スリランカ（コロンボ港）、タイ（レムチャバン港、マプタプット港）、ベトナム（ホーチミン港、ハイフォン港）の港湾・エネルギー事業関係者（8 か国、12 港湾）	



(3) セミナー次第(案)

Day 1 – November 25 - Conference

- Opening ceremony
- Keynote
- Frameworks, regulations and strategies for advancing ports decarbonization
- Ports' initiatives and practical implementations
- Ammonia as promising marine fuel, applied research for safety management
- Manpower skills development
- Safety management in ports as bunkering hubs and energy clusters

Day 2 – November 26 – Workshop and Field visit

- AM Interactive Workshop
- PM Field visit (Group A: to visit ENEOS, Group B: to visit Tokyo Gas)

(参考1) Global Ports Safety プロジェクトとは

(フランスの「ヨーロッパ・外務省」Web から要約)

- Global Ports Safety プロジェクトは、欧州とアジアを結ぶ海路の安全を確保するため、港湾関係者の研修を行うことを目的としています。

次頁あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



- ・インド太平洋地域は、世界で最も急速に成長している地域の一つであり、同地域は世界の海上貿易の3分の1を占めていますが、バッテリーなどの機微な貨物の流通増加に加え、海運部門の脱炭素化に伴う水素やメタノールといった高リスク燃料の導入は、管理が特に困難な状況を生み出しており、環境、地域社会、そして国際貿易に対する脅威となっています。
- ・欧州海運業界は、特に脱炭素化の面において世界で最も先進的な業界の一つであり、この分野における専門知識は、同様の課題に直面しているインド太平洋地域の国々にとって有益となり得ます。
- ・こうした背景から設立された本プロジェクトには主に以下の2つの目的があります。
 - ①重要貨物の管理を最適化するとともに、脱炭素化された燃料の安全な利用を促進すること
 - ②港湾職員の能力を強化し、危険物に関連する事故をより効果的に管理し、大規模災害に対処できるようにすること
- ・本プロジェクトは、同地域の8か国12港湾を特定し、熟練した人材を育成すると同時に可能な限り最高水準の安全基準を推進することを目的としています。

(参考2) 日仏首脳共同声明

- ・高市早苗内閣総理大臣がエマニュエル・マクロン・フランス共和国大統領と2026年4月1日に日仏首脳共同声明を発出されました。
- ・共同声明に本セミナーに関する次の文章が盛り込まれています。



両首脳は、2026年11月25日及び26日に開催予定のグローバル・ポート・セーフティ（GPS）と横浜港との共同訓練プロジェクトの署名を歓迎し、(中略)これらのイニシアティブは、いずれも地域の海上安全保障の強化を目的としている。

※[外務省ホームページ](#)から引用。フランス語と日本語の発表であるため、日本語のみ記載。



**多くの市民・企業の皆様のご来場をお待ちしています
出展もまだ間に合います！（資料請求はコチラから）**



[横浜港におけるカーボンニュートラルポート\(CNP\)の取組](#)

お問合せ先

政策調整課カーボンニュートラルポート担当課長 中村 Tel 045-671-7279



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



出展社リスト オフィシャルウェブサイトにて最新の出展社リストをご覧くださいませ。

(2026年9月18日現在)

オーシャントランスフォーメーションエキスポが推進する3分野 **T** ▶ Ocean Technology **M** ▶ Ocean Mobility **E** ▶ Ocean Energy

ア

(株) アークエッジスペース **M**

(株) IHI と共同出展

(株) IHI **M**

次世代AIS「VDES」の双方向・デジタル通信、位置認証、衛星活用による入港効率化・GHG削減の将来像を紹介

(株) アイエンター **T**

水産業が抱える課題に対し、IT技術を駆使して作業の効率化、データの蓄積・分析を支援するサービスを提供します。

(株) アイランドシックス **T**

10年駆動のソーラーGPSデバイスで物流コンテナを「見える化」!2日間の出展者セミナーにも登壇いたします。

Awareocean Technology Co., Ltd. **T**

Society of Underwater Noise と共同出展

(株) アカサカテック **T**

GNSS衛星測位/LiDAR/ミリ波レーザー/衛星通信など、現場を支える様々なソリューションをご提案。

浅野金属工業 (株) **T M**

水中ドローンの引き掛け時に、遠隔での連結を可能にする金具をメインに、多彩なステンレス製品を展示。

アメテック (株) **T**

高精度で持ち運び可能な3Dスキャン測定技術により、検査効率向上と設備保全の高度化を実現します。

イグス (株) **T M E**

イグスは様々な国や地域に対応可能な陸上給電装置のご提案が可能です。幅広い船種に対し、多くの実績がございます。

(株) 石蔵商店 建材事業部 **M**

内田金属 (株) と共同出展

いであ (株) **T**

港湾～外洋のインフラ維持管理や調査について、最新技術をご紹介します。水中ステレオカメラやグリーンレーザードローンも展示します。

岩田市 **T**

IMETSIによる実証・開発環境を活かし、水中ドローン関連企業の進出を支援します。

内田金属 (株) **M**

国土交通省型式承認を取得した、国内初の船舶対応遠熱シートGC-Sをご紹介します。船内の労働環境改善に貢献します。

(株) AKTコンステック **T**

AKT製品をはじめとする海洋ICTシステム導入のためのフィールドサービス・カスタマーサポートを提供

(株) エイトノット **T M**

操船制御・自己位置推定・他船や障害物認識など、船舶の知能化を実現する「AI CAPTAIN Module」を展示します。

(株) エス・イー・エイ **T**

下記新製品の実機展示の他、多様な海洋調査機器をご用意しております。「ISBP」Norbitサブボトムプロファイラー・「HB1500」SATLAB社USV

Eddyfi Technologies ジャパンオフィス **T**

船舶・海洋構造物の最先端非破壊検査。アレイ超音波で溶接部を、電磁気でコーティング越しに腐食を検査します。

NGK (株) **T**

海洋設備の敵「生物付着」を材料で防ぐ、高強度・高熱伝導ベリリウム銅合金による防汚ソリューションを展示。

NGKファインモールド (株) **T**

ベリリウム銅合金で実現する海洋防汚ソリューション。確かなコーディネートで安心をお届け。

(株) オハラ **T**

宇宙分野で認められた高機能性ガラス技術をご提案!ガラスの力で海洋分野のお困りごとを解決します。

カ

(株) 海事プレス社 **T M E**

日本を代表する海運・造船、国際物流、客船分野に特化した専門メディアです。当社発行媒体をご覧くださいませ。

(国研) 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 **T M E**

海底鉱物資源開発、海洋再生可能エネルギー及び海中ロボットに関する研究をご紹介します。

(国研) 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 **T M E**

港湾及び空港の整備等に関する調査、研究及び技術の開発等を行っている当研究所の取り組みをご紹介します。

(株) カゴオ **T**

株式会社カゴオの船舶修繕の現場から生まれた「MAREWA-SYSTEM」。船舶機関をリアルタイムで見える化し、異常の早期発見と安全運転を支援します。

気象庁 **T**

詳細は公式ウェブサイトをご確認ください。

九州工業大学 **T**

複数の無人機を遠隔操縦・協調させる革新的な広域海中電波通信を展示。デモ映像でその展望をご覧ください。

神戸高専ロボティクス **T**

神戸高専発ベンチャーと小澤研が国交省SBIR事業に取り組んでおります。水中吸着ドローンを利用した壁面点検技術で、海中施工の未来を感じてください。

(株) 広洋電子 **T**

信和産業 (株) と共同出展

国際航業 (株) **T**

独自の空間情報技術 (衛星・ドローン・GIS) を活用し、ブルーカーボン (海洋生態系による炭素貯留) の調査・解析、モニタリングを行う環境コンサルティング企業です。

五洋建設 (株) 東京土木支店 **T**

Penta-Ocean Vanguard-Droneシリーズの実機展示 (離着水・海上航行可能な海洋観測ドローン)

サ

三次元重心検知研究室 **T**

三次元重心検知理論に基づく転覆予知高精度のプロトタイプ及び実船を用いた実証実験を再現実演いたします。

CSGコンサルタント (株) **T**

(株) アカサカテック と共同出展

シー・エフ・デー販売 (株) **M**

QYSEAの最新水中ドローンを展示。測量・マッピングなど専門チームが課題解決を提案!

(株) SeaBreath **T**

測る、見る、探る。世界の先端技術と多彩なソリューションで、SeaBreathがこれからの海洋観測をご提案します。

静岡市 **T**

駿河湾を舞台に、海洋に関わる多様な情報や技術とDXを活用した研究・人材育成・産業創出の取り組みをご紹介します。

ジャパン マリンユナイテッド (株) **T M E**

最新技術を搭載した低燃費且つGHG削減の建造船舶、並びに海洋エンジニアリング事業をご紹介します

信和産業 (株) **T**

AEセンシングで機械設備の異常の予兆を検知。FIRST AE®製品の防塵対応型、エンドポイントAI搭載、可搬型を展示!

(株) 水龍堂 **T M**

水中インフラ点検の現場を想定したROVを展示。狭所や濁水下での調査を支える機体構成と運用の工夫をご覧くださいませ。

スターマリン・パブリックリレーションズ (株) **T**

日本気象協会、Roxtec、OceanWingsが、気象・EMC・風力推進の最先端技術をご紹介します!

(株) 住商マリン **T**

詳細は公式ウェブサイトをご確認ください。

Society of Underwater Noise **T**

MATURE Taiwan is the premier exhibition for marine technology, autonomous systems, and underwater vehicle, connecting global maritime innovators with Taiwan's robust ocean supply chain and blue economy opportunities.

(株) 染めQテクノロジー **T**

船の運転を止めずに火気厳禁環境でも駆体設備を再生・強度復元。船舶・港湾インフラの老朽化を打破する「強靱化工法」のご紹介。

タ

大晃機械工業 (株) **T**

これまで手掛けてきた油・水用ポンプに加え、LNG・アンモニア用ポンプも開発。海事産業におけるGXに貢献します。

(株) Takayanagi **T M**

皆さん、AIに使われていますか。私たちは、浜松の木型屋、模型屋です。AIでは製作できない工業用精密実験模型や展示模型などの1個モノの製作をしています。

ダッソー・システムズ (株) **T M E**

AIとバーチャルツインが拓く、持続可能な海洋産業の未来を、最新ソリューションとデモでご紹介します。

(公財) 地球環境戦略研究機関 **M**

地球環境戦略研究機関 (IGES) は、アジア太平洋地域の持続可能な開発の実現を図ることを目的とし、1998年に日本政府のイニシアティブにより設立されました。

中央開発 (株) **E**

当社が開発した傾動自在型試験工法により、大水深の海域においても高精度な地盤情報を提供いたします。

(株) ツジマキ **T**

【横浜で創業110年】空気と水以外に印刷! 精密マーキングから大型カット加工まで一貫製作

T&E (Transport and Environment) **M**

Biofuels' Limits, E-Fuels for Shipping

東亜建設工業 (株) **T E**

海を拓いた挑戦の歴史を未来への信頼と技術につなぐ。横浜から世界へ。東亜建設工業。

東京海洋大学 **T M E**

本展示では、海洋分野から人類社会の持続的発展に貢献する最新の研究成果・技術をご紹介します。

東京大学生産技術研究所 海中観測実装工学研究センター **T M E**

海洋観測のためのセンサーやAUV、ブイ、海のエネルギーや食料の利用システムの最新の研究を紹介します。

(株) 東京ファクトリー **T**

船舶や海洋構造物のメンテナンス業務を効率化しデータベースを構築する「Proceedクラウド」を展示いたします。

トーカロ (株) **E**

トーカロは溶射を中心とする表面処理のメーカーです。海洋業界で適用可能な技術を多数ご紹介しします。

(株) TRIART **T M E**

詳細は公式ウェブサイトをご確認ください。

DONGYANG MFG. **T M**

Discover the future of high-performance mooring fiber ropes at the DONGYANG booth. With over 75 years of experiences DONGYANG is a global leader of rope industry across the maritime and aquaculture.

ナ

ナブテスコ (株) **T M**

ナブテスコは主機遠隔操縦やAI運航支援で船舶の安全と省燃費を実現。OXEXPOでDX・自律運転を体感ください。

日油技研工業 (株) **T E**

「海洋から宇宙まで」をテーマとする海洋調査機器のメーカーで、独自開発のCPTによる海底地盤調査サービスも提供します。

日伸産業 (株) **M E**

詳細は公式ウェブサイトをご確認ください。

日本海洋事業 (株) **T E**

水中写真から生成した3Dモデルをご覧ください、水中構造物の状態を立体的に可視化する技術をご体験ください。

日本郵船 (株) **T M E**

横浜の海から広がる、海事産業の可能性。オーシャンテックとビズテックで描く日本郵船グループの新たな挑戦。

(一社) 日本ROV協会 **T M**

ぶかり機構で開催するOXExpoデモンストラーションプラザ。水中ロボットなどの海洋調査技術を実演で紹介しませ。

(株) 日本海新聞社 **T M E**

海事・国際物流を専門に、1942年の創刊以来、業界の最新動向を伝える国内最大の日刊経済紙です。

日本港湾経済学会 **M**

日本港湾経済学会は、港湾・海事・物流・地域経済に関する学術研究を推進する全国組織です。1962年創立、60年以上の歴史を有する日本学会議登録団体です。

日本コーティングセンター (株) **E**

JCCはDLC「Slickシリーズ」を展示。高硬度・低摩擦の被膜が、様々な摺動部品の課題を解決します!

(一社) 日本水中ドローン協会 **T M**

資格制度・認定スクール・現場人材育成、国・自治体連携、海外からの事業協力まで。水中ドローン人材育成の最前線をご紹介します

Nortekジャパン (同) **T M E**

流向流速や対地速度+α!Nortekの柔軟なカスタム精密実験模型や展示模型などの1個モノの製作をしています。

ハ

(株) ハイドロシステム開発 **T M**

水中計測機器の販売、整備、技術提供を行っております。本展示会では各種無人機等の実機展示を行う予定です。

Pacific Environment **M**

IMOで諮問資格を有するパシフィック・エンバイロメントが、横浜港のCNP推進に貢献する取組みをご紹介します。

パンスター エンタープライズ **T**

3Dスキャンを活用した船舶改造設計と、脱炭素・省エネ技術へのワンストップ対応をご紹介します。

PwCコンサルティング (同) **T**

海事分野におけるサイバーセキュリティリスクへ対応するためのコンサルティングサービスを出展しております。

ビジオテックス (株) **T M**

(一社) 日本ROV協会と共同出展

(株) フルトン **T**

自社開発の水中ドローンとそのコントロールユニット等制御システム

古野電気 (株) **T**

持続可能な水産業の実現に貢献する海洋・水産業のデータ活用サービスについてご紹介しませ。

マ

マリメックス・ジャパン (株) **T**

FalconROVと組み合わせ利用可能なマニピュレーター—Reach Bravo5や磁力計を中心とした展示を行います。

(一財) マリンオーブナイノベーション機構 **T M**

実海域での技術開発や海洋ビジネスの支援、海洋DXプロジェクトなど、静岡で進む「海」の取組をご紹介します

(株) マリン・ワーク・ジャパン **T M E**

国内外で海洋調査や試料の分析、機材の設計・製作といった活動を通じ、お客様が抱える海洋科学、地球科学に関わる課題に取り組んでいます。

ミサゴ (株) **T M**

(一社) 日本ROV協会と共同出展

ミズノ (株) **T**

海でも土でも生分解する新しい人工芝が誕生。スポーツからまちづくりまで、未来の海へとつづく選択肢をご紹介します。

(株) 村田製作所 **T**

海の変化をデータで見える化。ムラタのセンサ技術で、ブルーカーボン評価から港湾・養殖の課題解決へ。

ヤ

山口県 **T**

「艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト」を活用した産学公連携による水中次世代モビリティ関連産業の振興に向けた取組

横浜川崎国際港湾 (株) **T M E**

横浜市港湾局と共同出展

横浜港CNPサステナブルファイナンス・フレームワーク **T M E**

臨海部の民間事業者の脱炭素化推進のため、港湾脱炭素化推進計画に基づいた金融支援の仕組みをPRします。

横浜港埠頭 (株) **T M E**

横浜市港湾局と共同出展

横浜国立大学 総合学術高等研究院 造船海洋ナサンス国際連携センター **T M E**

「造船業再生」と「海洋への挑戦」に、文理融合・産学連携で挑む横浜国立大学の新しい研究センターです。

横浜市港湾局 **T M E**

世界とつながる横浜港。横浜市、横浜港埠頭株式会社、横浜川崎国際港湾株式会社が描く、脱炭素と海洋産業の未来。

横浜ドック(株) (旧 株式会社横浜工作所) **E**

創業107年の造船会社が挑戦する海洋開発。浮体式洋上風力を支えるサブシー最先端技術をご紹介します。

ラ

理研電具製造 (株) **T**

海外メーカーの高信頼水中コネクタ、ケーブル、光通信製品を幅広く取り揃え、海洋・水中機器、防衛分野のお客様にご提案します。

(一財) リモート・センシング技術センター **T**

宇宙から海を見る。薄場・ブルーカーボンの把握や港湾モニタリングなど、衛星画像を活用したサービスをご紹介します。

レモジャパン (株) **T**

高い信頼性を誇る「防水・水中コネクタ」を中心に展示、世界中で採用され、カスタム設計、ケーブル加工、耐久圧試験まで可能です。

LocationMind (株) **M**

(株) IHI と共同出展

ワ

(株) YDKテクノロジーズ **T**

海洋DXの推進を図り、社会実装を目指した高精度水中測位、近距離測距レーダー、防汚水中センサを開発。

OXExpo

Ocean Transformation Exhibition

オーシャントランスフォーメーションエキスポ

2026.11.25(水)-26(木) 10:00-17:00

パシフィコ横浜(横浜平和国際会議場 展示ホール)

主催：インフォーマ マーケッツ ジャパン(株)

関連イベント

後援：横浜市、海洋都市横浜うみ協議会

同時開催：うみコン2026(海と産業革新コンベンション)

入場料：無料

SEA APAN

Offshore PortTech

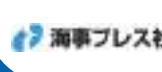
BARI-SHIP
IMABARI MARITIME FAIR

案内状

イベントパートナー



メディアパートナー



オーシャントランスフォーメーション(OX)を推進する展示会

—11月にパシフィコ横浜で初開催!— 無料



本イベントは、海洋都市である横浜市および産学官の関係者が集まる海洋都市横浜うみ協議会が主催の「うみコン(海と産業革新コンベンション)」を発展させるため、国際海事展「Sea Japan」の主催者であるインフォーマ マーケッツ ジャパンと連携することで誕生しました。「第4期 海洋基本計画」の中で示されたオーシャントランスフォーメーション(OX)を産学官連携で推進し、国内外に広く情報発信することにより、次世代の海洋産業に貢献することを目指します。多くの方々にご参加いただくことで、業界の垣根を超えた活発な交流を生み出し、海洋産業の発展に寄与したいと思っておりますので、ぜひご来場ください。

入場に必要なステップ

ご入場には WEBからの「来場事前登録」が必要です



お問合せ

インフォーマ マーケッツ ジャパン(株)

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-8-3 神田91ビル

TEL: 03-5296-1020 E-mail: visitor@oxexpo.jp

oxexpo.jp



うみコン (海と産業革新コンベンション) ／プライムセミナー

〈会場〉展示会場内シンポジウムステージ

※事前登録制のセミナーを聴講希望の方はホームページよりお申し込みください
※開始後にご来場いただいた場合など、満席時には座席の確保ができず立ち見となってしまう場合がございます
※講演内容などは予告なく変更する場合があります。最新のプログラムはホームページでご確認ください

11.25 水

VDESが変える港湾の未来。 港湾DXを支える新たな海上デジタル通信

S-101 主催：IHI、アークエッジ・スペース、LocationMind
本セミナーでは、VDES通信を活用した港湾DXの新しい姿を紹介します。港湾運営の高度化、防災力強化、CNポート実現をVDESでどう支えるのか、具体的なシナリオとともに解説します。

10:20 ▶ 10:35
経済安全保障重要技術育成プログラム (Kプロ) による衛星VDESの社会実装
IHI
航空・宇宙・防衛事業領域 宇宙システム事業推進部 事業開発グループ 主幹 大貝 高士 氏

10:35 ▶ 10:50
VDES活用による入港オペレーションの高度化
～港湾DX・防災・CNポート～
LocationMind
海洋・宇宙領域 Vice President 吉本 莊彦 氏

10:50 ▶ 11:05
国際海事デジタル化の最新潮流と、
衛星VDESによるこれからの港湾DX
アークエッジ・スペース
宇宙インフラ事業本部 海洋ソリューション部
Satellite VDES Evangelist 寺田 秀行 氏

特別企画 11:40 ▶ 12:30
S-102 主催：横浜市港湾局 事前登録制

11:40 ▶ 12:00
横浜港・メルボルン港 貿易協力港 40 周年記念セレモニー
横浜港とオーストラリアのメルボルン港は、今年、貿易協力港提携 40 周年を迎えました。これを記念して、メルボルン港から幹部をお迎えし、40 周年の節目をお祝いします。
＜参加者＞横浜市港湾局、Port of Melbourne

12:00 ▶ 12:30
「True Emission Eye -Maritime」
船舶 GHG 排出量を見える化する新たな挑戦
日本郵船は船舶から排出される温室効果ガス(GHG)の高精度な把握を目指して、衛星、ドローン、陸上からのリモートセンシング技術と船上センサーを組み合わせた手法の開発に取り組んでいます。脱炭素社会の実現に向け、GHG 排出量の「見える化」を通じて新たな環境価値の創出に挑戦しています。
＜登壇者代表＞日本郵船 技術開発グループ グループ長 加藤 淳 氏

OXExpoオープニングセレモニー／基調講演 13:00 ▶ 13:50
S-103 事前登録制

13:00 ▶ 13:10
OXExpoオープニングセレモニー (テープカット)

13:10 ▶ 13:30
戦略 17分野「海洋」政策の要諦と官民連携への期待
内閣府 総合海洋政策推進事務局 事務局長 飯塚 秋成 氏

13:30 ▶ 13:50
横浜港におけるカーボンニュートラルポートの形成と
海洋施策の推進について
横浜市港湾局長 新保康裕 氏

AIが切り拓く、海洋経済の未来
ー バーチャルツインによる革新 Prime Seminar 14:20 ▶ 15:10
AI翻訳 英語⇒日本語

S-104 主催：ダッソー・システムズ 事前登録制
AIとバーチャルツインの融合が、船舶・海洋インフラの設計・運用、エネルギー効率の向上や環境負荷の低減にもたらす可能性をご紹介します。リアルとバーチャルをつなぐ技術が、持続可能で強靱な未来のOcean Economyをどのように実現するのかを考えます。

ダッソー・システムズ
Marine Business Consultant Director
François MATHIEU 氏

ダッソー・システムズ
M&O Technical Executive Director
Fabio CRISAFULLI 氏

他、ゲスト講演者 ※詳細はホームページをご確認ください

横浜港カーボンニュートラルポート (CNP) の取組推進に向けて 15:40 ▶ 16:50
AI翻訳 英語⇒日本語

S-105 主催：パシフィック・エンバイロメント 事前登録制

司会：スターマリン・パブリックリレーションズ 吉田 麻貴 氏

横浜港のカーボンニュートラルポート (CNP) の先進的な取組と、港湾の脱炭素化やゼロエミッション船に関する国際的な知見の共有をテーマとするセミナーです。IMO において諮問資格を有し、カリフォルニア州に拠点を置く「パシフィック・エンバイロメント」が横浜市と共催します。国内外の有識者を迎え、横浜港の脱炭素化に向けた今後の展望や課題について議論します。

＜講演者＞
パシフィック・エンバイロメント
Climate Campaign Senior Director テレサ・ブイ 氏
横浜市港湾局政策調整部
部長 桐山 大介 氏
その他有識者 (調整中)



テレサ・ブイ 氏 桐山 大介 氏

11.26 木

Global RoRo Communityセミナー Prime Seminar 10:30 ▶ 12:00

S-201 主催：Global RoRo Community 事前登録制 (一部招待制)
※終了後にネットワーキングが行われます

RORO船・自動車専用船による外航海上輸送における GHG (温室効果ガス) 排出原単位・スコープ3 排出量算定ガイドラインや脱炭素化の動向等に関してより一層のご理解を深めていただくことを目的とし、海運会社や船級協会による“GRC セミナー”を開催いたします。

※登壇者の情報はホームページをご確認ください。

国立研究開発法人セミナー 12:30 ▶ 13:50

S-203 主催：海洋都市横浜うみ協議会 事前登録制

海洋都市横浜うみ協議会の会員である国立研究開発法人の 4 者が一堂に会し、最先端の研究成果や知見をご紹介します。

＜講演予定＞※順不同
・国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
・国立研究開発法人 水産研究・教育機構 (FRA)
・国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 (NMRI)
・国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 (PARI)

日本における
ゼロエミッション・ SHIPPING Prime Seminar 14:20 ▶ 15:10
通訳 英語⇒日本語

S-204 主催：地球環境戦略研究機関 (IGES) 事前登録制

2050年の国際海運ゼロエミッション化に向け、日本の官民の取組、代替燃料の供給網、「総所有コスト (TCO: Total Cost of Ownership) 分析」を踏まえ、政策・技術・経済面の課題を議論する。

司会：地球環境戦略研究機関 (IGES) 気候変動ユニット
リサーチディレクター 田村 聖太郎 氏

14:23 ▶ 14:30
総所有コスト分析
ロッキーマウンテン研究所 気候適応産業
プリンシパル アバラジット・パンデイ 氏

14:30 ▶ 14:37
日本のグリーン SHIPPING 政策について
地球環境戦略研究機関 (IGES)
気候変動ユニット 研究員 滝澤 元 氏

14:37 ▶ 15:10
パネルディスカッション

(上記講演者に加え)
商船三井
シニアエグゼクティブアドバイザー アジャイ・シン 氏
トランスポート・アンド・エンバイロメント プログラム
APAC Regional Program and Policy Director ジュード・リー 氏
戸田総合法律事務所
弁護士 (日本法)・ソリシター (英国法) 松村 悠人 氏



アジャイ・シン 氏 ジュード・リー 氏 松村 悠人 氏

海事分野における
サイバーセキュリティ対応に関する動向と展望 Prime Seminar 15:40 ▶ 16:30

S-205 主催：PwCコンサルティング 事前登録制

PwCコンサルティングでは様々な業種・業態のクライアントのサイバーセキュリティ対応の戦略立案から実行までを支援しています。本セミナーでは海事分野におけるサイバーセキュリティ対応の最新動向および今後の展望についてご紹介します。

15:40 ▶ 16:00
海事分野における
諸外国のサイバーセキュリティ対応に関する最新動向
PwC コンサルティング Trust Consulting Director 羽奈 洋介 氏

16:00 ▶ 16:15
経済安全保障推進法および
サイバー対処能力強化法への対応
PwC コンサルティング Trust Consulting Senior Manager 篠原 裕佑 氏

16:15 ▶ 16:30
スマートポートにおける
フィジカル AI リスクとサイバーセキュリティ対応
PwC コンサルティング Trust Consulting Director 奥山 謙 氏



併催 イベント



※内容などは予告なく変更する場合があります。最新のプログラムはホームページでご確認ください。各イベントへのご参加は直接会場にお越しください。

気象庁「凌風丸」 船舶見学

11.25 水 のみ 10:00-15:30 (最終受付:15:00)

〈場所〉横浜港 新港ふ頭9号岸壁
横浜ハンマーヘッド (新港ふ頭客船ターミナル)
※注意事項をホームページに掲載しております。あらかじめ確認の上、ご来場ください。



凌風丸

気象庁の海洋気象観測船が横浜で初めての見学会を実施します。海水温・塩分や海水に含まれる温室効果ガス、海上気象などの観測を実施しているほか、線状降水帯発生予測精度向上に向けて、海上からの水蒸気の流入を正確に捉えるために、海上水蒸気観測装置や高層気象観測装置を用いた機動的な水蒸気観測を実施しています。

詳細地図は下のQRをご確認ください
※ストリートビューの画像は古いのでご注意ください。地図の位置に会場入口が設置されます。



GLOBAL PORTS SAFETY ライブ配信 11.25 水 〈生中継〉・ 26 木 〈録画配信〉



〈場所〉OXExpo展示会場内特設エリア
フランス共和国の国際協力機関である Expertise France と横浜市港湾局、そして横浜港カーボンニュートラルポート協議会の会員企業により、東南アジア・南アジア諸国の港湾・エネルギー関係者を主な対象とする船舶燃料等の脱炭素化に関する国際セミナーを開催します。OXExpoの会場内でもセミナーの様子を中継でご覧いただけます。



デモンストレーションプラザ 11.25 水・26 木 10:00-15:00



〈場所〉ぶかりさん橋周辺 ※デモはさん橋周辺で実施します。
一般社団法人日本 ROV 協会の企画により、実海域でデモンストレーションを行います。海洋調査で活用される ROV (水中ドローン) や USV (無人ボート) などの最新機器が一堂に会し、実際の航行や操作、機器の動きを間近でご覧いただけます。海洋調査の最前線で活用される機器を、実際に見て、触れて、感じることができます。

詳細地図は下のQRをご確認ください



YOKOHAMA MICE Challenge (YMC) 11.25 水・26 木



〈場所〉OXExpo展示会場内特設エリア
横浜市が市内の大学生とともに国際会議や展示会の場で企画に挑戦する、共創型課題解決プログラムです。横浜の街や海をより身近に感じることができるオリジナル企画を実施します。

＜横浜市港湾局＞
横浜グリーンエキスポPRブース 11.25 水・26 木



〈場所〉OXExpo展示会場内特設エリア
2027年3月19日から横浜市中区で開催される「横浜グリーンエキスポ」のPRブースです。

出展社セミナー

〈会場〉展示会場内セミナールーム

出展企業が、最新の製品・サービス・テクノロジーを発表します！
聴講をご希望の方は、直接セミナー会場へお越しください。

11.25 水

11:10 ▶ 11:40	S-112	知能化技術で、安全な運航を当たり前	エイトノット
12:00 ▶ 12:30	S-113	【R&Dピッチ】三次元重心検知研究室、九州工業大学、神戸高専ロボティクス、東京大学、東京海洋大学	
12:50 ▶ 13:20	S-114	Roxtecが実現する最新 EMC 対策と効果検証	Roxtec
13:40 ▶ 14:10	S-115	陸電供給における船舶との接続についてソリューションの紹介	イグス
14:30 ▶ 15:00	S-116	イスラエル発の最先端技術！10年駆動のソーラーGPSデバイスで物流コンテナを「見える化」	アイランドシックス
15:20 ▶ 16:40	S-117	次世代センシングで 保全・AI判断自動化・防爆デジタル化・無線化	信和産業

※開始 10 分前から受付開始 ※座席数には限りがありますので、お早めに会場にお越しください
※講演内容などは予告なく変更する場合があります。最新のプログラムはホームページでご確認ください

11.26 木

10:20 ▶ 10:50	S-211	Norway DX & GX Mini Seminar	Norwegian Embassy
11:10 ▶ 11:40	S-212	風力推進レトロフィットの本格展開へー ばら積み船「Maria Topic」から得られた知見	OceanWings
12:00 ▶ 12:30	S-213	【公共・自治体ピッチ】	山口県、岩国市、静岡市
12:50 ▶ 13:20	S-214	海洋事業に関わる日本気象協会の取り組みについてー 気象・海象データで支える港湾・海運・洋上風力ー	日本気象協会
13:40 ▶ 14:10	S-215	マルチビームとサイドスキャンソナーについて	エス・イー・エイ
14:30 ▶ 15:00	S-216	船舶データとAIで切り拓く！ナブテスコが描く次世代運航の世界	ナブテスコ
15:20 ▶ 15:50	S-217	イスラエル発の最先端技術！10年駆動のソーラーGPSデバイスで物流コンテナを「見える化」	アイランドシックス